


ふるさと会三十年を迎え、北上市における街の品格を維持しつつさらなる発展の施策を考えた。噂の人工知能ChatGPTに問うてみると、「産業振興」、「地域観光の推進」、「教育・研究施設の強化」、「地域資源の保護と環境保全」そして「地域づくりの推進」の五つの施策が示された。さらにこの中の重点施策を問うと「産業振興」との応答であった。この結果は妥当である。北上市の歴代の市長さんは産業振興に力を入れてきていた。

しかし人工知能は過去のデータからの判断であり、将来に向けての施策としては若干不向きである。北上市の地政、歴史そして特性に基づく構造的な検討は人工知能にはまだ無理である。四半世紀将来を見据え、人間により考えられる重点施策は



北上市 これから
北上ふるさと会 会長 渡邊嘉二郎

「教育・研究施設の強化」ではないか。
 黒沢尻北小学校の合唱団活動と上野中学校の吹奏楽団活動は輝かしい活躍を続けている。彼らの活躍は北上市民とともに私たちを大いに励ました。実に、このことには大きな歴史的な意義がある。原敬の「白河以北一山百文」の言葉、これは私たちへの叱咤激励であるとおもいますが、裏返せば東北地方の人々のある意味での自信の無さを示している。この小学生と中学生の活躍は、私たちはふるさとの言葉も文化も学問も決して劣ることとはなく誇るべきことを教えてくれている。いま北上において必要な教育・研究施設はこの地の地政、歴史そして特性を生かした「大学」の設置ではないか。しかも小粒であれ、世界から注

発行/北上ふるさと会
 所在地/〒103-0027 東京都中央区日本橋2-2-3 リッシュビル4階
 賞ビル日都商事株式会社内
 発行責任者/ 渡邊嘉二郎
 TEL: 03-3274-1501
 FAX: 03-3274-1509
 E-mail: jimukyoku@kitakami-hurusato.jp
 URL: http://kitakami-hurusato.jp

令和5年(2023) 9月
 北上ふるさと会会報 第21号



岩手県人集の会 八重樫市長を囲んで

北上市長選挙におきまして、市民の皆様をはじめ各方面の方々から格別の御支援を賜いかがお過ごしでしょうか。
 4月の北上市長選挙におきまして、市民の皆様をはじめ各方面の方々から格別の御支援を賜



「住みよい北上」「住みたい北上」
北上市長 八重樫 浩文

目されるシャープな特色ある大学の設置である。そして卒業生は世界に目をやりつつも北上の文化・産業に寄与してもらうことだ。このため私たちは北上市とともにスクラムを組んで頑張ってみよう。

第31回 北上ふるさと会の集い

今年の「北上ふるさと会の集い」は11月25日(土)に開催の会は在京きたかみ出身者の年に一度の交流の場です。市長をはじめとする地元の方々や懐かしい仲間と語りあえる大切な機会です。是非、ご参加いただけますようご案内申し上げます。詳しくは同封集いの会開催案内をご参照ください。

り、市政運営の重責を担わせていただくこととなりました。皆様の思いをしっかりと汲み取り、これからも安心して暮らし続けられる「住みよい北上」「住みたい北上」を目指し、市政の発展に全力で取り組んで参る所存であります。どうぞよろしくお願いたします。

さて、今年度は北上市と石垣市が友好都市を締結して10周年を迎えます。平成5年に生じた岩手県大冷害の際、石垣市の種もみ増殖支援をきっかけに「かけはし交流」が始まり、平成26年に友好都市を結んで以来、マラソン大会の選手団相互派遣や伝統芸能の相互公演、中高生の文化交流などスポーツや文化・教育の面で幅広い交流が盛んに行われてきました。友好都市締

結10周年記念式典は、10月に開催される秋の「大イベント」ランフェスきたかみ」と合わせて開催する予定であり、両市の今後ますますの交流と発展を願い、準備を進めているところです。
 また、令和5年2月からは、現在の中心市街地に新たな価値を見出すべく市内業者を含む有志によって、毎月第4日曜日に「きたかみ朝市」が諏訪町商店街通りで実施され、大変な賑わいを見せております。こうした誘客イベントへの支援を通じて、まちの賑わい創出に寄与するとともに、地域への愛着醸成にもつなげて参ります。今後も様々な機会を活用し、北上の魅力を発信していきますので、ぜひ御期待ください。
 結びに、北上ふるさと会会員の皆様の御健勝での御活躍をお祈り申し上げますとともに、引き続き当市への御理解、御協力をお願い申し上げます。

きたぶら 旬のイベントから観光プラン、グルメスポットまで様々な情報を提供

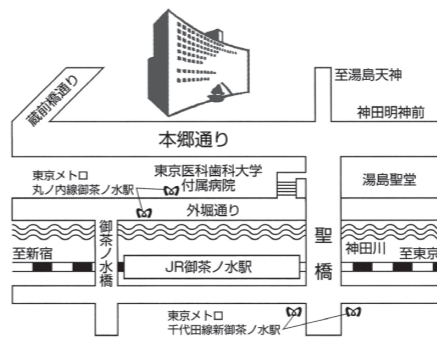
北上観光コンベンション協会公式ホームページ
<https://kitakami-kanko.jp>

- 観る・遊ぶ
- 泊まる
- 体験する
- 食べる
- イベント情報

コロナ禍でお盆の墓参りを断念された方も多いのではないのでしょうか。北上観光コンベンション協会のHP「きたぶら」で、北上の様々な情報を検索出来ますので、次回帰省の折にお役立て下さい。何年

も帰省していないという方も、北上の今を感じることが出来ます。北上駅東口の「観光案内所」と、西口駅前のおでんセブラザぐるーぶ1階協会事務所では、無料の冊子「きたぶら」を配布しています。

「北上ふるさと会の集い」会場案内



HOTEL, BANQUET & RESTAURANT
Gp 東京カーテンパレス
 tel.03・3813・6237 (宴会予約直通)
 tel.03・3813・6211 (代表)
 〒113-0034 東京都文京区湯島1-7-5
<http://www.hotelgp-tokyo.com>

■JR/御茶ノ水駅聖橋口、東京メトロ丸の内線/御茶ノ水駅、東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅聖橋方面出口、聖橋を渡り徒歩5分
 ■東京駅・上野駅より車で10分

編集後記

▲新型コロナの影響で「中止」「延期」を余儀なくされていた恒例の行事、イベントがコロナ以前の「普通」に戻ってきました。何の制限もない日常は久しぶりの状況です。
 ▲今年は「北上ふるさと会設立30年」ということで昨年に引き続き11月25日(土)に「集いの会」が開催されます。4月の選挙で新しく市長に就任した八重樫浩文氏も参加する予定です。皆様の御参加をお待ちしています。
 ▲今回は黒沢尻北小合唱部の活躍を取り上げましたが市立上野中学校吹奏楽部の活躍も私たち北上人にとってはうれしいニュースです。今年も頑張ってください。これからも地元北上のニュースを伝えていきたいと考えています。

ふるさと北上応援寄附 (ふるさと便PR事業)

担当課：産業雇用支援課

【問合せ先・申込先】
 一般社団法人北上観光コンベンション協会
 (ふるさと納税受付業務委託先) **0197-64-6611**

本市では、「ふるさと北上応援寄附」の拡大と特産品のPRのため、御寄附いただいた方に御礼の品を贈呈しています。農畜産物のほか、特産品、観光サービス、工業製品など1,400点以上の御礼の品を御用意しております。令和4年度のふるさと北上応援寄附の寄附額は14億5千万円(約61,000件)となり、前年度に比べ8千万円の減となりました。物価高騰の影響によりティッシュ、トイレットペーパー等の日用品や、新鮮な北上野菜やお米を月に一度お届けする定期便といった御礼の品を多くの方にお選びいただきました。

ふるさと納税をきっかけに北上を知っていただけるよう、また事業者や御礼の品のファンが増えるよう、これまで以上に北上市の魅力を発信して参りますので、引き続き応援の程よろしくお願いたします。

★各コースで人気・おすすめの特典★

- 5,000円コース**
A0219 【株式会社西部開発農産】和賀みそ700g×3個セット
- 10,000円コース**
C0328 【黄金製麺所】手作り盛岡冷麺10食
C0386 【夢工房】貝象嵌箸 粹
- 12,000円コース**
D0309 【トロイカ】チーズケーキ 5号サイズ
- 15,000円コース**
D0287 【展勝地レストハウス】二子さといも3kg
D0123 【三菱製紙北上工場】ナクレ トイレットペーパー ダブル 96個
- 50,000円コース**
I0024 【P&Cリンク株式会社】【6ヶ月定期便】たっぷり野菜セットB

120,000円コース
 O0065 【株式会社ユーティーオー】男女兼用シルククルーネックTシャツ

※上記以外にも多数の御礼の品がありますので、右のQRコードからご覧ください。



ふるさとチョコイス
 楽天ふるさと納税



北上ふるさと会の集い

令和4年「北上ふるさと会の集い」3年ぶり開催された！

令和4年11月26日(土)、「北上ふるさと会の集い」が令和元年以来3年ぶり東京ガーデンパレスで開催されました。参加者



挨拶する北上ふるさと会渡邊会長

はコロナ第8波の影響もあり、高橋前北上市長(令和5年7月現在)をはじめ来賓の方17名、会員88名、総勢105名の参加で開催されました。

11時から北上ふるさと会総会。渡邊会長の挨拶に始まり、令和3年度の事業報告、決算報告、令和4年度の事業計画、予算案について菊池幹事長から報告があり原案通り承認された。続いて情報交換会が行われ及川副市長から北上駅東口開発事業、黒沢尻北小合唱部の全国大

会ダブル受賞など北上市の現状についての説明、報告がありました。

ふるさと北上民話研究会高橋道直さん、鈴木昌子さんによる口演があり、懇親会に入りました。今年は7、8名が出身地ごとの円卓に着席。来賓の方々はその円卓の円卓に赴き、親交を温め3年ぶりの再会に会場内は参加者の笑顔であふれていた。

アトラクションでは二子流の免許皆伝「東京鬼剣舞」が今年も勇壮・華麗な舞を披露した。何年ぶりかで鬼剣舞を目にした方も多かったようだ。そして、お楽しみ抽選会がありました。



会場いっぱい踊る「北上 おでんせ」

壇上に渡邊会長をはじめ高橋市長、有志がのほり「北上を歌う」と題し、「北上夜曲」、「そんな街 北上」を合唱。そして参加者全員が会場いっぱいになって



二子流の免許皆伝「東京鬼剣舞」

「北上 おでんせ」を輪踊りました。最後に北上ふるさと会折笠名誉会長の音頭で3本締めを行い、参加者の健康と次回の再会を約束して閉会した。

北上ふるさと会設立30周年を迎える

平成3年4月、北上市、和賀町、江釣子村の3市町村が合併し、新たな北上市が誕生、9月には、北上市東京事務所(千代田区)が開設された。これに伴い、平成5年11月に設立総会が中野サンプラザで開催され、それまで関東地区にあつた「在京北上人会」「和賀町ふるさと会」「えづりこ古里会」が発展的に解散し、現在の「北上ふるさと会」として新たに発足した。「北上ふるさと会」は、会員

相互の親睦と啓発を図ると共に北上市との連携を密にし、郷土の発展に寄与することを目的とする。(会則第一条より)

会員の要望で次々と部会ができ、部会活動も盛んにおこなわれてきた。ふるさと北上民話研究会(平成12年)、産業人部会(平成15年)、大江戸探索会(平成16年)、山歩きの会(平成27年)、産業人部の傘下に若手グループでの「北上大学」を立上げ(平成27年)、「北上夜曲」を歌う会(平

成30年)がそれぞれ発足した。

会報「在京きたかみ」は、平成15年に創刊され、以降毎年発行(平成30年以降、地元情報を入れるなど増ページ)するとともに、ホームページやフェイスブックを通じ、会員に対する情報提供に努めてきた。「在京きたかみ」の題字は今21号で北上ふるさと民話研究会の執筆いただいた小原純一さんの協力をいただき作成したものです。

「北上ふるさと会」は新たに発足してから、年一回総会・懇親会を開催し、会員相互の親睦を深めてきた。新型コロナ感染



在京きたかみ創刊号～3号

拡大のため、令和2・3年度は開催を見送った。総会では、会則に基づく審議のほか、北上市長以下来賓の参加を得て、北上市との情報交換、民話の語り等を行い、懇親会では、食事を楽しみながら、郷土芸能の鑑賞、



中野サンプラザで開催された設立祝賀会

ふるさととの合唱、輪踊りなどを行い、会員の旧交を温める機会を持つてきた。

在京北上産業人会

在京北上産業人会では令和5年7月23日にネットイベント「生成AI ChatGPT ネット de 寺子屋」を開催しました。

当日は八重樫浩文北上市長をはじめ北上、首都圏の方々にご参加を頂き総勢42名のイベントとなりました。



八重樫北上市長はじめ皆様に参加いただいたネットイベント

講演は今春に瑞宝中綬章を受章された北上ふるさと会会長であり法政大学名誉教授の渡邊嘉二郎先生にお願いしました。

人工知能(AI)の基本的な考え方から画像や文章・音声などさまざまなコンテンツを生成する生成AIを説明しました。生成AIは膨大な知識から質問に対し流暢な言葉で答えるが「正しく答える」は目的としていない。そもそもAIは中身を理解していないとのこと。素早く応答して便利だが、便利さ故に人間の能力の退化を招きかねない、教育に対する影響など

光と影の説明がありました。資料の猿から人間へ進化、そして文明の進歩による猿への退化の絵は大きなインパクトがありました。頼り過ぎてはいけません。

続けて生成AIの利用例として北上市の美しさを謳う俳句や和歌、北上市をさらに住みよい街、住みたい街にするための方策、北上川と和賀川の自然特性を活かした魅力的にする方策等を問い、回答を得ました。もっともらしい内容でした。

あくまでもAIは道具でしかなく正しく賢く使えば良く、北上市もこの道具を使いこなしながら「住みよいまち、住みよいまち」として発展することを祈念する、と講演が締め括られました。質問コーナーの後フリートークと続いたが生成AIについて熱い談義が交わされました。

コロナ禍に入りネットイベントの企画を進めています。北上や首都圏に居ながら同時に講演を聞き意見を交わせるのは魅力的です。イベント後に楽しかった、また参加したい、非常に勉強になったと多くのコメントを頂きました。感謝です。

この生成AI「ChatGPT」もネットでイベントを行うためのZOOMもひとつの道具です

北上大学

が上手く使いこなすことで猿への退化を防げるかもしれないです。

この11月25日には集いの会で

北上大学は在京北上産業人会の下部組織として、2016年9月に発足しました。設立の目的は三つあります。①首都圏在住、在勤の北上人が、年代、性別に問わず気軽に集まり、語らう場の提供 ②首都圏在住、在勤の北上人が、互いの交流を通じ、公私に渡り自己研鑽できる場の提供 ③首都圏在住、在勤の北上人が、北上市の産業、経済に寄与するために活動する場の提供。

北上を離れ、首都圏で活躍する現役世代が集い、学び、発信する場を目指しています。過去には首都圏でご活躍されている北上出身の方を講師にお招きし、講演会の開催や北上出身者の交流会等を行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、活動自粛が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を受け、リアルな場での集まり等

を含め、今後の活動について模索しております。

SNSでの情報発信等を行い、本会の周知を図ることで、一人でも多くの方に興味を持って頂き、本会を通じて、首都圏在住、在勤の北上出身者が様々な形で繋がることができると考えています。

(記・庄司大人)



コロナ禍前に行われた北上大学の様子

大江戸探索会

私の大江戸探索会

大江戸探索会は、2004年にスタートし、今回2023年5月21日で第105回目を迎えました

私が初めて参加したのは2017年1月29日・第71回の「JR亀有駅南口集合の、『亀有く金町界隈』の探索でした。当時、千代田線（常磐線）の千葉県柏市に住んでいましたが途中下車したのは金町駅で『フーテンの寅さん』に何度か会いに行っただけでした。

初めての亀有駅下車、駅内の

第62回北上・みちのく芸能まつり

日本の民俗芸能を代表する鬼剣舞、鹿踊、神楽等多数の団体が一堂に会しての祭典。最大の見どころは2日目の北上駅前大通りで行われる鬼剣舞の大群舞。外国人観光客等道路の両側は見物客で一杯。

スタートは「国見山梵灯の会」が梵灯を持って入場。会場には「かがり火」が灯され、21団体の神楽に始まり、10団体の鹿踊。最後は鬼剣舞の大群舞。地元鬼剣舞団体に東京・函館・佐渡・名古屋・京都チームが口内鬼剣舞保存会のお囃子で「一番庭」

と勇壮な「刀剣舞を200人の踊り手が一斉に舞う情景は圧巻。祭りの最終日は北上川河畔での「トコッコ流しと花火の夕べ」。370年の伝統あるトコッコ流しと夜空を彩る花火の競演は観客を魅了していた。



(記・菅原清徳)

詳しい説明もあり大変勉強になりました。

私が「旅」にハマったのは間違いなく大江戸探索会に参加し新しい発見をする楽しさや喜びを覚えた事。皇居を始め東京駅界隈、銀座、新宿・大学探索等々『好奇心と野次馬根性旺盛な』私にとっては大変関心がある楽しい探索です。

仕事を辞職してから、初登山を富士山に挑戦し今年は6回目の登頂をめざしています。今は、「一人旅、シニア、国内」旅行にハマリ、あそこ旅していて昨年「関所巡り」を楽しんでいます。

私の「旅」は心の洗濯でもあります。感激したり新しい出会いや発見があつたりと、幸せな現代に生まれてきて本当に良かったと思います。（戦争中国々や飢餓で苦しんでいる人々には申し訳ない）今後も幹事さんや案内人の方々にはご苦労をおかけしますが、いつまでもこの大江戸探索会が続けられますようご祈念いたします。（記・昆野 健治）



亀有駅前の両津勘吉像

ふるさと北上民話研究会

「ひやびやの」語りの会

岩手県のアンテナショップ銀河プラザ（東銀座）で、年10回ほど「北上地方の昔話を公開していた語りの会。しかしこれがコロナ感染予防のため中止が続きました。多くの聴き手の方の前で語るチャンスが少なくなり、毎月1回の定例練習会での目標が見えなくなっていました。緊張感が薄れてきているこの頃でした。先日、たまたま私の絵の個展会場で民話語りの会を企画されて「ひやびやの」開催でした。

「ふるさと北上民話研究会」は1999年に企画。結成時には岩手日報の取材や報道テレビまで来たり、一杯飲み会などワイワイにぎやかなスタートでした。勉強嫌いな私ですが「あなたが発案したんだから」練習しなさい！と引つ張り込まれてしまいました。会員も20人ほどになり、毎月1回の練習日では



緊張いっぱい！

ざわざ聞きにいらした語りの発表会のお客さんの前ではなんとか恥ずかしがらず語れるように会員一同成長しました。

今回の語りの会は30人ほどのお客さんの入る小さな会場でしたが「キツネの嫁入り」などの大きな絵の前で、語り手は5人2話つつかたりました。なかなかの良い雰囲気としました。後日、その時のお客さんに感想をお聞きしましたところ、「前にも聞いていたのですがこういうチャンスが少ないので、とても楽しかった。しかし今回はブツと笑える語りがあつたが、今回はそれが少なかった」との評価でした。今後はその辺も研究しなくては…と感じました。（記・小原 純）



銀河プラザでの語り

「北上ふるさと会」の活動概要

2022年9月～

9月15日	在京きたかみ20号 発行
9月25日	北上市ビジョン ネット de 座談会 在京北上産業人会主催
10月2日	第101回 大江戸探索会(大宮界隈)
10月16日	金ヶ崎人会参加
10月19日	第23回 山歩きの会(箱根三国山)
10月22日	第3回 役員会
11月3日	池袋駅前「献血運動」
11月9日	第4回 役員会
11月26日	第30回 北上ふるさと会の集い
12月11日	第102回 大江戸探索会はとバスツアー
12月26日	第24回 山歩きの会「金時山」
1月29日	第103回 大江戸探索会(新宿界隈)
2月5日	岩手県人連合会 「新春の懇親会」参加
2月20,21日	いわて銀河プラザ 北上・西和賀物産展
3月18日	第5回 役員会
3月25日	第104回 大江戸探索会(船堀界隈)
5月3日	第25回 山歩きの会「陣馬山」
5月13日	令和5年 第1回 役員会
5月21日	第105回 大江戸探索会(鎌倉)
5月21日	和賀江島の清掃活動
6月11日	岩手県人集いの会参加
7月6日	北上市企業懇談会参加
7月8日	在京花巻人の集い参加
7月15日	第106回 大江戸探索会(江戸川橋界隈)
7月23日	生成AI「ChatGPT」ネット de 寺子屋 在京北上産業人会主催
7月29日	令和5年 第2回 役員会



102回大江戸探索会はハトバスで



北上市企業懇談会で八重樫市長と



岩手県人集いの会会場で銀河プラザの出店

山歩きの会

“歩けるうちは山へ行こう” そんな話をしながら歩く山歩きの会・・・

この3年余り新型コロナウイルスの影響で自粛や躊躇を余儀なくされ、積み重ねた鬱憤が限界に達したかの様に、昨年後半辺りから徐々に“あちらこちら”に出かけ様になりました。コロナ禍と無縁の山は四季折々に表情を変えて、優しくも厳しくも容赦なく迎えてくれます。

山頂から望む富士の英姿に感動し、果てしなく連なる山脈の雄大さに癒され、新緑の若葉に自然の息吹を感じ、色鮮やかに染まる錦秋の美に心酔し、自然が醸し出す造形美に堪能する。山はいつも心身に無量の幸福感を与えてくれますね……。

先日第25回のハイキングは5月3日相模湖の北側にある眺望に恵まれた陣馬山でした。この山名は甲斐の武田信玄が小田原北条氏照の居城滝山城を攻めた時、ここに陣を張ったと云う事に由来している様です。JR藤野駅から相模湖駅まで行程は約12km、7時間の程良いロングコースでした。爽やかなハイク日和の下、新緑の若葉が発散するフィトンチットを潤沢に浴び乍ら尾根の自然を満喫、山頂では白馬の石像が“お疲れ様”と優しく出迎えてくれました。

山の数だけ感動がある、山歩きの会はその感動に違いたくて歩いています。次は何処にしましょうか？ (記：熊谷 忍)



健脚6人陣馬山山頂で



眼下に相模湖が見えました

和賀江島の清掃活動

「和賀江嶋」は鎌倉時代・北条泰時の頃に造られた日本最古の港湾施設といわれ、国の指定遺跡となっている。和賀氏の娘が北条家に嫁いだ関係で和賀一族が施設の建造に携わったのがそもそものご縁であるらしい。今は港の風情はなく、建造に使われた丸石が散在しているが、その中の清掃活動が引き潮を狙って行われる。

「和賀江嶋」の清掃活動は、昭和52年に鎌倉の材木座自治連合会によって開始された。岩手からも、20数年前から「北上和賀江島の会(代表・佐藤克英氏)」が参加しており、北上ふるさと会は令和元年に大江戸探索会の一環として参加した。その後、コロナ感染のため中断を余儀なくされ、令和5年に久しぶりに復帰した。

「大江戸探索会」のメンバーが訪れた「極楽寺」は、北条泰時の弟重時が開山を命じたもので、彼の乳母が「霊山尼」と称し、和賀氏の祖苅田義季の次女といわれている。この寺は「和賀江嶋」の維持管理を命ぜられ、そこに入りする船舶からの弁米(税金)の徴収も行っていたという。

「和賀江嶋」(豊島屋謹製)という和菓子が売られており、和賀氏と縁が深い豊島氏を思い出させる。(記・小原磯則)



引き潮時に行われる作業



北上からも多くの人々が参加しました

母校(廃校)を訪ねて 藤根中学校の思い出

3年生の時、急性腎炎で約2か月入院した。安静にしていなければならずかなり退屈していた。そんな時、担任の奥山先生が単行本を貸してくれた。朝日新聞記者本多勝一の著書「アラビア遊牧民」と「カナダエスキモー」の生活を描いたルポルタージュだった。最初はあまり興味がなかったが、読んでいくうちにどんどん引き込まれていった。中学生の自分でも解かりやすく優しい文章で実体感しているような感じだった。新聞記者ってこんなに人を引き付ける文章を書くんだと思った。

夏休みも終わり、2学期が始まった。クラスで学級新聞を作ろうという話になった。当時は野球、陸上競技などいろんな行事が月ごとにあり、クラスメートの活躍、成績のどを記事にして発行しようということになり新聞の題名も決まった、「月刊サンビー」。自分が編集長になり何人かで手分けして記事を書き、静君が口ウ原紙を切る役割になった。静君の文字はきれいで読みやすかった。パソコンやコピー機などまだない時代、先生方と交渉し、謄写版など口ウ原紙、やすり、鉄筆を借り原稿を作成、それを謄写版で1枚1枚印刷した。卒業が近いころ、国語の加藤先生に呼ばれ「いい新聞だった」とお褒めの言葉をいただいた。企画、編集の仕事が好きになった。

昭和42年卒 菊池 裕



今は形もない木造の藤根中学校校舎

母校(廃校)を訪ねて 岩崎小学校の思い出

一番の思い出は鬼剣舞を教わったことです。私たちの頃(昭和30年代後半)は、スポーツ少年団ではなく、和田房吉師匠が指導してくれました。私は低学年から始めましたが、鬼剣舞の練習があまりにも運動量が多く、体の弱かった私は家族から辞めるように言われたこともあり。少しづつ踊りを覚えていく毎に鬼剣舞の魅力に取りつかれていき、中学校を卒業するまで続けました。現在の庭元そして師匠になられた方々と一緒に、和田房吉師匠に指導して頂いたことが、今でも鬼剣舞の虜になっている私の原点です。

鬼の館のイベントNHK「新日本紀行」で放送された映像を何十年ぶりに見ました。馬車を引く房吉師匠、鬼剣舞を踊る房吉師匠、そして鬼の面を彫る初代小田島昌悦さんが映っており、当時を思い出して感無量でした。

20年前、30年ぶりで家族と共に岩崎に転居しましたが、岩崎小学校では昭和44年から「岩崎鬼剣舞スポーツ少年団」として鬼剣舞の伝承活動に取り組んでおり、鬼剣舞と再会した私は平成20年から育成会長を務めています。指導していただいている岩崎鬼剣舞保存会は、昨年「風流踊り」ユネスコ無形文化遺産登録されました。

岩崎に育った人にはやはり鬼剣舞は欠かせないものだとこのことを痛感しました。 昭和41年度卒業 門屋 龍一



思い出の岩崎小学校校舎

ふるさとの情報コーナー

北上市内には16地区自治協議会があり、それぞれ活発な活動を行っています。昨年に引き続き地元の協力を頂き、今号では江釣子、岩崎の2地区の情報をお知らせいたします。

江釣子には、人、物、宝がいっぱい

江釣子は北上市のほぼ中央に位置し、世帯数5,088戸、人口11,829人余り商工業田園都市として人口は増加傾向にあります。

北上川と和賀川が合流する北上域は旧石器時代から人の暮らしが刻まれ、7世紀後半から8世紀前半にかけて作られた古墳群が江釣子五条丸地区で先人たちが語りかけています。

さらに、江釣子には、「すず」があります。東西に和賀川の段丘に沿って約5キロに渡って「すず」が点在してきれいな流れを形成しています。桜並木のある遊歩道を有し、「すず」を利用したセリの栽培、東側には釣り堀も復活しております。

滑田地区では「りんご」、鳩岡崎地区では、「アスパラ」もちろん米は主要な農産物です。

伝統芸能、産業、民芸品などにおいても、江釣子には宝物は沢山あります。

それらを江釣子ブランド化事業として、付加価値を高めるため、コミュニティFMやセンターだよりをとって発信しています。今こそ、打って出る地域づくりを考え、取り組んでいます。

このたび、滑田鬼剣舞がユネスコ無形文化遺産に登録されたことは、大きな励みになります。

江釣子の伝統を守り、江釣子の宝の付加価値を高めるため、日々活動しています。(江釣子・高橋 弘 事務局長)



江釣子のすず(桂のすず)



滑田鬼剣舞

北上の奥座敷 いわさき

市の西南地域に位置し、夏油高原スキー場や夏油温泉をはじめとする夏油高原温泉郷、全国でも珍しい鬼の博物館「鬼の館」があります。

また、ユネスコ無形文化遺産に登録された岩崎鬼剣舞発祥の地で、地区内のこども園から小学校、中学校まで運動会や地域の行事でも踊られています。

伊達と南部藩境の岩崎城址では、新緑の時期に和賀氏供養の絵幟まつりが、夏は北上みちのく芸能まつりの鬼剣舞出発式が行われます。

地域では、岩崎地区青年会による夏の「虹色フェスタ」冬の「鬼福豆節分会」、いで湯ラインを楽しむ会による夏の「深緑まつり」。移住者の方々も、単独で切り開いたオートキャンプ場や古民家カフェ開店、地元をベースとしたトレッキングツアー企画開業、北上市のそばブランド事業を経て蕎麦屋開店など、活躍されています。(岩崎・浅田昌稔 事務局長)



岩崎鬼剣舞



移住者の活躍

北上翔南高校鬼剣舞、「第47回全国高等学校総合文化祭 伝承芸能部門」で文化庁長官賞受賞

令和5年7月29日から8月4日まで、鹿児島県奄美市で開催された「第47回全国高等学校総合文化祭」伝承芸能部門において北上翔南高校鬼剣舞部は優秀賞・文化庁長官賞(準優勝相当)を受賞した。

週6日、1日2時間の厳しい練習を重ねた成果を晴れの舞台で披露し、息の合った勇壮な舞で観客や、審査員の心をつかんだ。鬼剣舞部の32人は「一番庭」や刀を持って踊る「八人加護」を16人で踊るなど5演目を披露し勇壮な舞いを繰り広げ会場を沸かせた。

8月26日(土)、半蔵門の国立劇場で「第34回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演」が開催され同校鬼剣舞部が参加した。

ダンスク、ダンスクと太鼓と笛の響き渡る中、基本踊りで礼舞とも言われる「一番庭」や勇者で荒れ狂う武者が乱舞する「八人加護」を32人が組み踊りにして演じ、客席から喝采を浴びていた。

同高鬼剣舞部は2012年に最優秀賞を受賞。優秀賞は今回で5度目。帰省した部員は早速、来年の最優秀賞獲得を目標に活動を再開したようです。

ふるさと北上市のコミュニティFM「きたかみE&Be(いいあんべ)エフエム」をスマートフォンで聴くことができます

愛称は「きたかみE&Be(いいあんべ)エフエム」です。「E」はEverything(みんなの)、Everyday(毎日の)、Emergency(緊急事態)の頭文字。「Be」はBelieve(信じる)、Best(最良)をとっている。「いい&びー」がなまって「いいあんべ」。地元がいいあんべの放送を毎日発信し、信頼される放送局になってほしいとの願いが込められていると言う。

放送スタジオは北上駅前のおでんせプラザぐるーぶの1階にあり、ガラス越しに放送の様子を見ることができ、パーソナリティやゲストを身近に感じることができる。

表示二次元コードから入り、APP StoreまたはGoogle PlayからFM++をダウンロードし、放送局選択画面で「きたかみE&Beエフエム」を選択することで聴取することができます。



これを読み取る
ことからはじま
ります



おでんせプラザの
放送ブース

令和4年、黒沢尻北小学校合唱部、 全国大会相次いで日本一に！ そして北上市民栄誉賞受賞

令和4年10月9日に行われた第89回NHK全国学校音楽コンクール、同11月13日に行われた、第75回全日本合唱コンクール全国大会でそれぞれ最高賞を獲得。同大会小学校部門が新設された2019年から3大会連続で2020年はコロナで中止で最高賞に輝く快挙。さらに今年1月北上市では二回目の北上市民栄誉賞を受賞した。

日繰り返している。優勝したからと言ってシードされるわけではなく、常に0からのスタートになる。今年の全国大会は、全日本合唱コンクールは11月に九州福岡で、Nコンは10月に東京で行われる。練習は厳しいと思うが楽しみながら「高み」を目指して頑張ってください。

合唱部顧問の中野美由紀先生は言う。「コンクールはあくまで手段。目的は教育。コンクールを目指すことで得られるものがある。突き詰めて物事を作り上げる経験、時間や体の使い方、仲間と歌を響かせあう感覚などがかけがえのない財産になると信じています。「音楽だけではなく何かに一生涯懸命頑張っている人が好き」と言い、「ふとした時に歌を口ずさむような充実した生活をする子供に育ってほしい」とほほ笑む。6月初旬に練習を拝見させていただいたが、生徒にかける言葉は厳しさが優しく温かさを感じた。コンクールの「自由曲」も決まり4から6年生50数名の部員が今朝、昼、放課後と3回の練習を毎



練習をくり返す生徒たち



指導する中野先生と共に